

ブラジルの柑橘類事情(オレンジ、オレンジ果汁)

米国農務省GAINレポート 2023年7月20日

これは米国農務省海外農業局ブラジリア事務所(ブラジル)が作成した「柑橘類半期報告書」を翻訳(一部省略)したものであり、米国政府の公式見解及びデータとは異なる場合があります。特記した場合を除き、この報告書の2022/23販売年度(年度)は2023年7月～2024年6月を指し、オレンジ果汁のトン数はブリックス値65の冷凍濃縮果汁(FCOJ)に換算した重量を指します。

要点

2022/23販売年度(以下「年度」)のブラジルの生鮮オレンジ出荷量は、隔年結果の再開により果樹当たりの着果量が減少し、前の年度に比べて1.1%の微減となる4億1,060万箱(40.8kg/箱)、すなわち1,675万トンと予測される。一方、2022年10月以降の柑橘類地帯全体の大雨により、収穫時のオレンジ果実1個の重量は、前年と比較して3.71%増加すると予測される。2022/23年度の冷凍濃縮果汁(FCOJ)製造量は112万5千トンと予測され、これは113万5千トンに上方修正された2021/22年度のオレンジ果汁製造量の推定値より9%少ない。ハリケーンイアンによって大きな被害を受けたフロリダ州の果汁製造量を補うため、米国市場への供給が増加するものと見込まれる。

<生鮮オレンジ>

生産

生産需給表

次の表は、サンパウロ州及びブラジル全体の2021/22、2022/23及び2023/24各ブラジル年度(7月～6月)における生鮮オレンジの生産需給データの改定値を示している。上記の各ブラジル年度は、それぞれ米国の2020/21、2021/22及び2022/23年度に相当する。

図表1 ブラジルの生鮮オレンジの生産需給表(7月～6月、千ヘクタール、100万本、100万箱(40.8kg/箱))

項目\米国の販売年度	米国 2020/21	米国 2021/22	米国 2022/23
項目\ブラジルの販売年度	2021/22	2022/23	2023/24
栽培面積	604.4	614.1	617.6
サンパウロ州	379.4	387.1	388.5
その他	225.0	227.0	229.0
収穫面積	546.1	546.4	537.1
サンパウロ州	346.1	344.4	337.1
その他	200.0	202.0	200.0
結果樹本数	221.6	228.0	231.0
サンパウロ州	166.6	169.9	169.3
その他	55.0	58.0	62.0
未結果樹本数	28.0	34.3	38.8
サンパウロ州	23.0	29.3	33.3
その他	5.0	5.0	5.5
合計果樹本数	249.6	262.3	269.8
総生産量	359.7	415.0	410.6
サンパウロ州	263.0	314.2	309.3
その他	96.7	100.8	101.3
輸出量	0.0	0.0	0.0
輸入量(ブラジル合計)	0.6	0.2	0.2
国内消費量	112.3	114.2	112.9
加工仕向量	248.0	301.0	296.0
サンパウロ州(FCOJ+輸出用NFC)	224.0	278.0	272.0
その他	24.0	24.0	24.0

注: ブラジルの販売年度と米国の販売年度の間には1年の差がある。例えば、2023/24 ブラジル販売年度は2022/23 米国販売年度に相当する。データの継続性を確保するため、現在の2023/24 ブラジル販売年度は、この報告書では「2022/23年度」と記述する。

全般

当事務所は、この2022/23年度(7月～6月)のブラジルのオレンジ総出荷量を4億1,060万箱(40.8kg/箱)、すなわち1,675万トンと予測しており、これは前年度(2021/22年度)の出荷量と比較して1.1%少ない。サンパウロ州とミナスジェライス州西部の商業的産地は昨年(2021/22年度)の出荷量(3億1,410万箱、1,282万トン)に比べて1.55%少ない3億900万箱(1,261万トン)のオレンジを出荷するものと見られる。この予想は、5月に発表された柑橘類保護基金(Fundecitrus 以下「基金」)の最初の柑橘類出荷予測に基づいている。予測の対象は、ハムリム(Hamlim)、ウェスティン(Westin)、ルビ(Rubi)、バレンシアアメリカーナ(Valencia Americana)、セレタ(Seleta)、パイナップル(Pineapple)、BRSアルボラーダ(BRS Alvorada)、ペラリオ(Pera Rio)、バレンシア(Valencia)、「フォーリャムルチャ」バレンシア(“Folha Murcha” Valencia)、ナタール(Natal)の各品種である。

栽培面積

基金が報告しているとおり、今年度(2022/23年度)の出荷量は前年度と比較してわずかに減少するものの、前年度とほぼ同じ水準を維持する。過去10年間の平均出荷量と比較して、今年度(2022/23年度)の出荷量は1%の微増となる。

この変動は、出荷量の増減が毎年繰り返す隔年結果の再開の結果である。この隔年結果サイクルでは、今年度などの裏年には果樹当たりの着果量が少なくなる。果樹1本当たりの平均果実数は、前年度には約5%増加し、それに続く今年度は同じ割合で減少した。しかし、早期の落果率が低下すると考えられ、収穫されるオレンジの1果実当たりの平均重量が増加するはずであり、これは着果量の減少による影響を最小限に抑えるのに役立つ可能性がある。

2022年初頭の乾燥した時期の後、オレンジの主産地であるサンパウロ州中心部では8月に最初のまとまった降雨が記録された。雨は9月を通して降り続き、オレンジの開花を促した。柑橘類地帯の残りの地域では、総雨量は40～80ミリの範囲であった。10月には柑橘類地帯全域に大雨が降り、天水に依存する園地で開花し、その後も月間降水量は多い状態が続いている。基金によると、2022年8月から2023年4月までの柑橘類地帯の平均降雨量は1,391ミリメートルで、昨年より45%多い。特にすべての柑橘類地帯で非常に頻繁に降雨があった。開花中のこうした連続した降雨と土壌が湿った期間の長期化は、開花後の落果が起りやすい条件をもたらした。これは開花時の継続的な湿気の下で真菌によって引き起こされる1種の病気で、花びらに影響を与え、着果数を減少させる。

柑橘類地帯で過去の平均を超える雨が予想されているため、基金はオレンジの平均重量の増加を予想している。果実は収穫が完了するまで順調に肥大を続けると予想される。ブラジルの気象情報会社(Somar Meteorologia社及びClimatempo社)によると、ラニーニャ現象は終了し、2023年の後半にはエルニーニョ現象が始まると予想されている。これらの気候現象の組み合わせにより、柑橘類地帯の大雨は収穫期間を通して続くことが予想される。

収穫時のオレンジ1果実の重量は165グラムまたは5.83オンス(247果実/箱)と予測されており、これは前年度(2021/22年度)の平均重量159グラムまたは5.61オンス(256果実/箱)と比較して3.71%、過去10シーズンの平均重量163グラムまたは5.75オンス(250果実/箱)と比較して1.23%の増加となる。

天候は開花にも影響を与えており、早い時期の雨は最初の開花による果実の生産量の増加につながった。灌漑園地(栽培面積の39%)の早咲きの果実に加えて、この天水による早咲きで、全体として最初の開花は前シーズンの27.5%から今シーズンは36.2%に増加した。2回目の開花は全体の46.1%、3回目の開花は16.3%、4回目の開花は1.5%であった。

最初の開花による果実の割合が高いため、収穫は通常より早く開始され、前年度よりも早く進むものと予想される。収穫が早まったことで、収穫が2023年4月まで続いた前年度のような早期の落果を防ぐ可能性がある。果実の損失を減らすのに役立つこの他の要因としては、2022年春以来高い状態が続いている土壌水分量、及び落果率が高い南部及び南西部での生産量の減少等が挙げられる。

当事務所は、基金及びブラジル地理統計研究所(IBGE)の最新情報に基づいて、2022/23年度のブラジルのオレンジ出荷量の推定値を4億1,060万箱(1,675万トン)にわずかに修正し、これは前シーズンの推定

値4億1,500万箱(1,690万トン)よりわずかに少ない。基金は2023年5月に、サンパウロ州とミナスジェライス州西南西部の柑橘類地帯の2023/24年度(2022/23米国年度)のオレンジ出荷量の最終予測を3億934万箱(1,262万トン)と発表した。

基金によると、カンキツグリーンング病は柑橘類地帯での果樹園の廃園の増加を引き起こした。2022年4月から2023年3月までの平均廃園率は6.68%で、最初に地図化された時よりも大幅に高いが、それでも前年よりわずかに低くなった。

IBGEが提供する情報によると、2022/23年度の他の州の出荷量は1億116万箱(412万トン)と予測され、2021/22年度(9,670万箱、395万トン)より約400万箱多い。

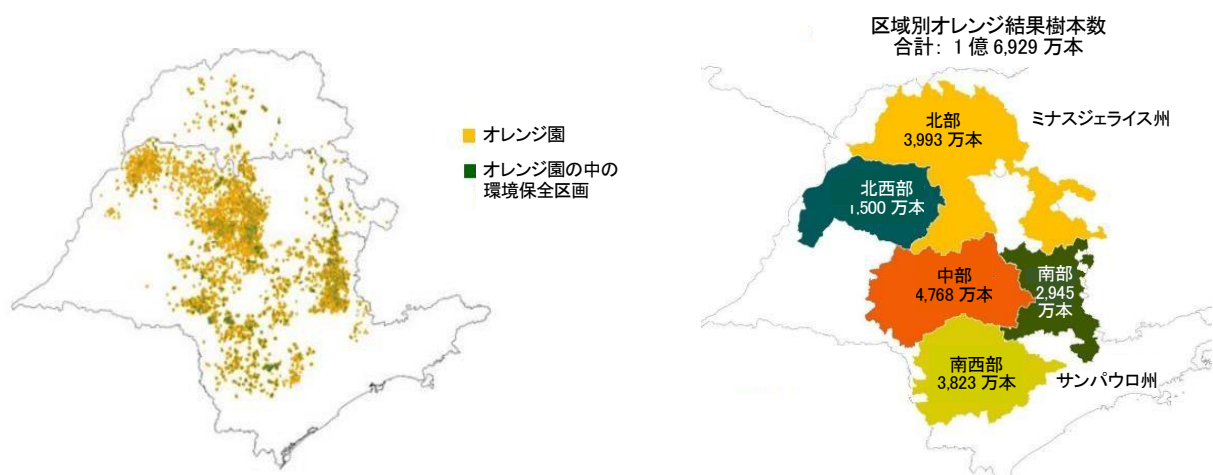
サンパウロ州立農業経済研究所(IEA)は2022年2月に、2022/23年度(2021/22米国年度)のオレンジ出荷量の最初の調査結果を公表し、前年の出荷量(2億9,611万箱、1,208万トン)に対して2%増となる3億321万箱(1,237万トン)と予測した。この数値は、2021年2月に収集されたデータに基づいており、商業的産地と非商業的産地の両方の生産量が含まれている。IEAはサンパウロ州全体のすべてのオレンジ品種を対象としていることに留意が必要である。同時に、当事務所の推計は柑橘類業界の方法論に従い、果汁用の4つの主要な柑橘類品種を対象とし、サンパウロ州とミナスジェライス州西部の商業的産地を対象としていることに留意願いたい。IEAはまた、サンパウロ州のオレンジ果樹本数は1億7,150万本(結果樹1億5,380万本及び未結果樹1,770万本)と推定されると報告している。

栽培面積、果樹本数、収量

2022/23年度のブラジルの収量は、約1.82箱/果樹にとどまると予測されている。一方、平均果実重量は、サンパウロ州の柑橘類地帯の開花と結実を支えた良好な天候条件の結果として、昨年度の159グラムから165グラムに増加すると予想されており、90ポンドの1箱を満たすには247個の果実が必要と推定される。

2022/23年度のブラジルの果樹本数は2億6,980万本と予測され、主にサンパウロ州の商業的柑橘類地帯で前年度に比べて増加するものと見られる。オレンジの栽培面積は61万7,600ヘクタールと予測され、前年度と比較して3,500ヘクタール増加し、サンパウロ州と他の州の両方でわずかに増加した。下の図は、基金の2023年柑橘類果樹調査で報告された、サンパウロ州とミナスジェライス州西部の柑橘類地帯のオレンジ産地を示している。

図表1 サンパウロ州及びミナスジェライス州の柑橘類地帯のオレンジ産地



出典: Fundecitrus

サンパウロ州は、果樹本数と果樹登録データをとりまとめている唯一の州である。米国農務省海外農業局サンパウロ農業貿易事務所は、IBGEが提供する統一生産データに基づいて、他の州の栽培面積と果樹本数を推定している。

消費

当事務所は、2022/23年度のブラジルのオレンジ総消費量の予測を1億1,320万箱(462万トン)に維持し、これはその前のシーズン(1億1,420万箱、466万トン)と比較してあまり変わらない。これらの数値には、実際の国内消費に加えて、自然落果及び収穫中、輸送中、梱包中の損耗が含まれる。

国内市場向けの「非濃縮果汁」(NFC)を製造するために加工業者に出荷される果実は、生鮮オレンジの消費量としてではなく、「NFC製造のための加工仕向量」に含まれる。

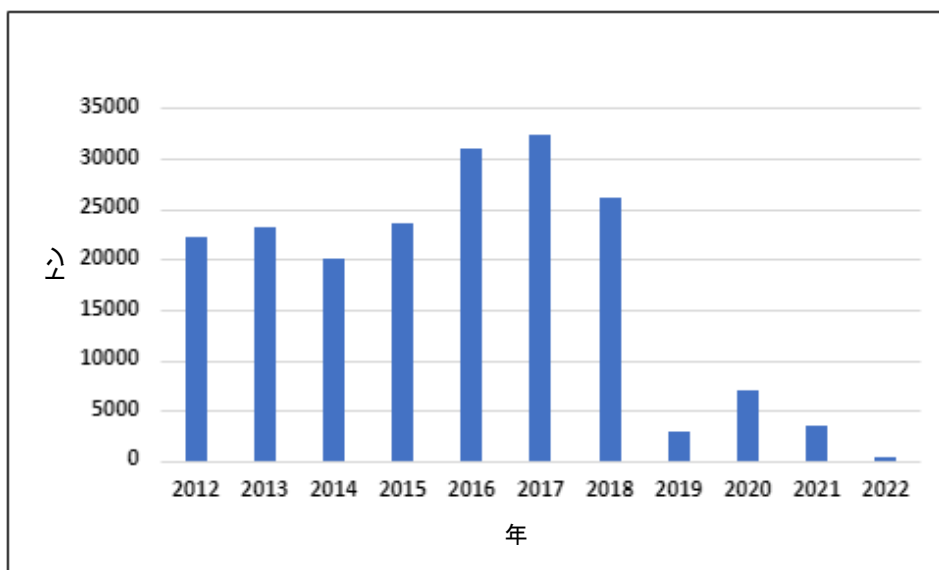
生鮮国内消費量の推計値は、生産量の推計値と、加工仕向量(国内消費用及び輸出用のFCOJ及びNFC製造用)の推計値の差として算出される。

貿易

輸出

更新された情報によると、2022/23年度の生鮮オレンジの総輸出量は、前年度と同様に実質的にゼロと予測される。2021/22年度の生鮮オレンジの輸出は実質的に見られない。ブラジルは他国への市場アクセスが限られており、ほとんどの輸出品はヨーロッパ諸国に出荷され、輸出の大部分は6月から12月までの収穫期間中に行われる。

図表5 ブラジルの生鮮オレンジ輸出量



出典：ブラジル外国貿易事務局(SECEx)のデータから当事務所が作成

図表6 ブラジルの生鮮オレンジ輸出(トン及び千米ドル FOB)

輸出先国	2019年7月～2020年4月		2020年7月～2021年4月		2021年7月～2022年6月	
	輸出額	輸出量	輸出額	輸出量	輸出額	輸出量
ロシア	-	-	89	186	70	145
マーシャル諸島	40	49	41	52	53	60
パナマ	33	42	39	47	43	52
リベリア	30	42	34	46	42	48
香港	29	39	26	37	29	33
マルタ	16	21	16	22	18	22
ギリシャ	16	20	13	18	13	17
シンガポール	12	16	11	16	13	16
キプロス	18	39	138	259	9	14
バハマ	10	11	7	10	11	12
その他	1,726	3,357	3,922	8,243	76	71
合計	1,930	3,636	4,336	8,936	377	491

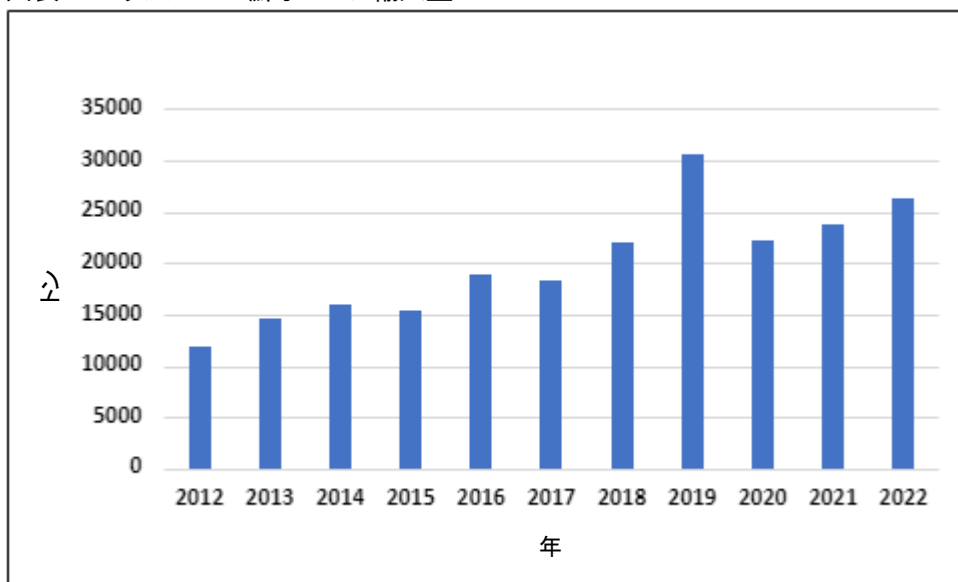
出典：SECExのデータに基づく Trade Data Monitor (NCM0805.10.00) 四捨五入により合計が一致しないことがある。

上の表は、ブラジル外国貿易事務局(SECEX)のデータに基づく貿易データモニター社(TDM)のデータで、輸出先別の生鮮オレンジ(NCM品目番号0805.10.00)の輸出額と輸出量を示している。

輸入

SECEXの最新情報によると、2022/23年度の生鮮オレンジ総輸入量は微増の75万箱(2万6,600トン)と予測される。2022年7月から2023年6月までの主要なオレンジ輸入先はエジプト、ウルグアイ、スペイン、アルゼンチンであった。

図表7 ブラジルの生鮮オレンジ輸入量



出典: SECEXのデータから当事務所が作成

下の表は、SECEXのデータに基づき貿易データモニター社(TDM)が提供するデータで、輸入先別の生鮮オレンジ(NCM品目番号0805.10.00)の輸入額と輸入量を示している。

図表8 ブラジルの生鮮オレンジ輸入(トン及び千米ドルFOB)

輸入先国	2020年7月～2021年6月		2021年7月～2022年6月		2022年7月～2023年6月	
	輸出額	輸出量	輸出額	輸出量	輸出額	輸出量
エジプト	2,574	3,552	7,308	11,815	7,317	11,831
ウルグアイ	2,878	3,870	4,571	7,632	2,677	4,328
スペイン	11,951	11,914	5,654	6,798	4,603	7,442
アルゼンチン	1,190	1,652	1,142	1,700	1,451	2,347
チリ	351	324	78	91	384	621
合計	18,944	21,312	18,753	28,036	16,434	26,569

出典: SECEXのデータに基づく Trade Data Monitor (NCM0805.10.00) 四捨五入により合計が一致しないことがある。

図表9 ブラジルの生鮮オレンジの生産需給統計

オレンジ(生鮮) 販売年度 ブラジル	2020/2021		2021/2022		2022/2023	
	2021年7月～翌年6月		2022年7月～翌年6月		2023年7月～翌年6月	
	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値
栽培面積(ヘクタール)	604,400	604,400	614,100	614,100	614,100	617,600
収穫面積(ヘクタール)	546,100	546,100	546,400	546,400	546,400	537,100
結果樹本数(千本)	221,600	221,600	228,000	228,000	22,800	231,000
未結果樹本数(千本)	28,000	28,000	34,300	34,300	34,300	38,800
果樹本数合計(千本)	249,600	249,600	262,300	262,300	57,100	269,800
生産量(千トン)	14,676	14,676	16,932	16,932	16,524	16,753
輸入量(千トン)	28	24	25	28	25	27
総供給量(千トン)	14,704	14,700	16,957	16,960	16,549	16,780
輸出量(千トン)	0	0	0	0	0	0
生鮮国内消費量(千トン)	4,586	4,582	4,676	4,669	4,636	4,690
加工仕向量(千トン)	10,118	10,118	12,281	12,291	11,913	12,090
総仕向量(千トン)	14,704	14,700	16,957	16,960	16,549	16,780

<オレンジ果汁>

生産

生産需給表

次の表は、サンパウロ州及びブラジル全体の、2021/22、2022/23及び2023/24各ブラジル販売年度(7月～6月)におけるオレンジ果汁の生産需給データの改定値(2023/24年度は初期の予測値)を示している。上記の各ブラジル年度は、それぞれ米国の2020/21、2021/22、2022/23販売年度に相当する。

表には、冷凍濃縮オレンジ果汁(FCOJ)相当量に換算された輸出用の非濃縮果汁(NFC)の製造量が含まれている。

変換係数: ブリックス値65のFCOJ 1トンは、ブリックス値11.6のNFC 5.4～5.6トンに相当する。

図表10 冷凍濃縮オレンジ果汁の生産需給表(7月～6月、百万箱(40.8kg/箱)、千トン(ブリックス値 65 換算)

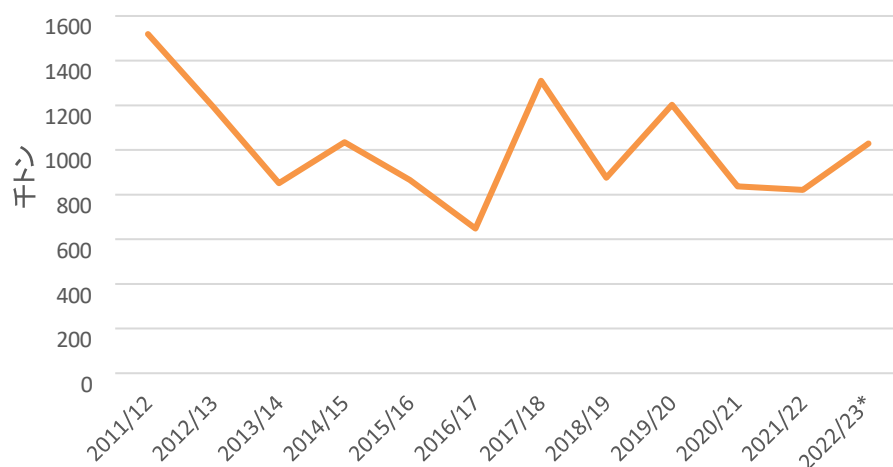
項目\米国の販売年度	米国 20/21	米国 21/22	米国 22/23
項目\ブラジルの販売年度	2021/22	2022/23	2023/24
原料果実の加工仕向量	248	301	296
サンパウロ州(FCOJ+輸出用NFC製造用)	224	277	272
その他	24	24	24
期初在庫量 - 合計	15	9	9
総製造量	944	1,135	1,125
サンパウロ州FCOJ	536	695	684
サンパウロ州NFC(FCOJ換算)	312	344	345
その他	96	96	96
総供給量	1,095	1,144	1,134
輸出量	1,010	1,068	1,050
サンパウロ州FCOJ	710	724	705
サンパウロ州NFC(FCOJ換算)	270	314	315
その他のFCOJ	30	30	30
国内消費量	70	73	75
期末在庫量 - 合計	15	9	9
総仕向量	1,095	1,150	1,134

注: ブラジルの販売年度と米国の販売年度の間には1年の差がある。例えば、2023/24 ブラジル販売年度は 2022/23 米国販売年度に相当する。データの継続性を確保するため、現在の 2023/24 ブラジル販売年度は、この報告書では「2022/23 年度」と記述する。

全般

当事務所は、2022/23年度のブラジルのオレンジ果汁総製造量を、加工用果実の入手可能量の予測に基づき112万5千トンと予測しており、これは2021/22年度の推定製造量より9%少ない。サンパウロ州の業界は、2億5,200万箱(FCOJ用に1億6,700万箱及びNFC用に8,500万箱)のオレンジを処理し、103万トンのオレンジ果汁(68万4千トンのFCOJ及びFCOJ換算で34万5千トンのNFC)を製造するものと予測される。他の州は合わせて2,400万箱の原料を出荷し、9万6千トンの果汁を製造すると見られる。

図表11 ブラジルのオレンジ果汁製造量

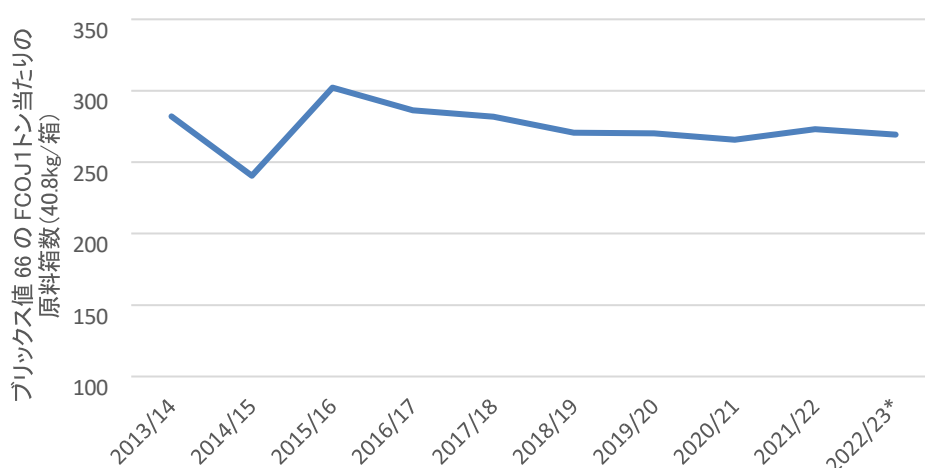


出典：ブラジル柑橘類輸業者協会(Citrus BR)のデータに基づき当事務所が作成
注：年度はブラジルの販売年度を表す。*は推計値。

2021/22年度のブラジルのオレンジ果汁総製造量はわずかに1万トン上方修正されて113万5千トンと推計され、これは前年度との比較では約20万トンの増加となった。この推計では、ブリックス値65のFCOJを1トン製造するためには269.3箱のオレンジが必要であると想定している。

オレンジ果汁の製造量には、ブリックス値65のFCOJ相当に換算された輸出用NFCの製造量が含まれている。ブラジルではNFCの需給に関する公式の推計はない。

図12 産業的オレンジ果汁歩留り



出典：Citrus BRのデータに基づき当事務所が作成
注：年度はブラジルの販売年度を表す。*は推計値。

消費

当事務所は、2022/23年度の国内消費量の見通しを7万5千トンに引き下げ、これは2021/22年度(7万3千トン)と比較して2千トンの増加となる。ブラジルではオレンジ果汁、特にNFCの消費量が着実に増加している。しかし、価格の上昇と海外市場でのオレンジ果汁の需要が高いことにより、国内消費はゆっくりとしたペースで成長すると予想される。オレンジ果汁の統計にはFCOJ相当に換算されたNFCの消費量が含まれることに留意願いたい。

貿易

当事務所は、2022/23年度のブラジルのオレンジ果汁総輸出量は105万トンで、近年の水準よりは多いが、加工用果実の供給が引き続き逼迫しているため、2021/22年度の改訂推計値(106万8千トン)よりもやや少ないものと予測する。サンパウロ州の業界は100万トンを出荷する見込みである。2021/22年度の総輸出量は、業界の最新情報に基づき、前回の推計値より8千トン多い106万8千トンに修正する。2021/22年度のNFCの輸出量は31万5千トンと推定され、これは前年度に対して15%増であり、(増加分は)主にハリケーンイアンによりフロリダ州からの果汁供給が限られている米国市場に供給される。

ブラジルはオレンジ果汁の世界有数の輸出国であり、世界で流通するオレンジ果汁の80%近くを占めている。オレンジジュース5杯のうちほぼ4杯がブラジルで製造されていることになり、輸出量は増加している。農業経済研究所(IEA-APTA)によると、サンパウロ州は今年最初の4か月で6億8,200万米ドルの果汁を輸出し、そのうち97.3%がオレンジ果汁であった。最大の輸出市場は欧州連合(約54%)で、北米(36%)がそれに続いている。

欧州連合への輸出量は2023年6月までのシーズンに、前年度に比べて約5%の減少となったが、輸出額は10%増加した。一方、米国向けの輸出量は急増している。外国貿易事務局(SECEX)のデータによると、2023年1月から3月の間に27万5千トンのオレンジ果汁が米国に出荷され、昨シーズンに比べ68%増加した。輸出額は2倍以上の5億5,900万米ドルとなった。EUへの出荷が減少し、米国への出荷が増加したため、米国に輸出されるブラジル産オレンジ果汁の割合は、2021/22年度の19%から2022/23年度には36%に増加した。

ブラジルの輸出は、2022年末にハリケーンイアンによって深刻な被害を受けた米国の生産量の減少に支えられている。米国農務省の推定によると、2022/23年度の米国のオレンジ出荷量は、前年度よりも60.7%少なく、1930年以來の最低水準と予想される。もう一つの主要生産国であるメキシコのオレンジ果汁製造量も、少雨のために少なくなった。

以下の表は、(原文のまま)2020/21、2021/22及び2022/23ブラジル年度(7月～6月)の輸出先国別のオレンジ果汁(NCM2009.11.00、2009.12.00及び2009.19.00)輸出量を示している。数値は、外国貿易事務局(SECEX)のデータに基づく貿易データモニター社のデータによる。

図表13 冷凍/非発酵オレンジ果汁の輸出(トン及び千米ドルFOB)

輸出先国	2019年7月～ 2020年6月		2020年7月～ 2021年6月		2021年7月～ 2022年6月		2022年7月～ 2023年6月	
	輸出額	輸出量	輸出額	輸出量	輸出額	輸出量	輸出額	輸出量
ベルギー	271,180	165,417	163,043	120,876	178,862	113,584	189,042	104,192
中国	62,443	45,218	68,783	57,237	86,658	76,504	100,578	81,292
米国	27,946	19,069	61,411	45,792	65,720	39,208	109,830	58,070
オランダ	87,820	62,938	66,174	48,333	54,399	36,785	60,910	34,449
日本	100,694	58,009	41,598	28,775	40,412	23,903	69,081	33,408
オーストラリア	21,948	12,712	22,999	16,151	16,374	9,868	20,235	10,404
チリ	8,822	5,534	7,434	4,613	12,032	7,192	13,429	6,487
イスラエル	8,863	7,332	11,170	9,419	15,444	10,163	8,894	5,371
スペイン	6,099	4,561	8,082	5,687	4,292	2,847	5,678	3,554
イタリア	3,394	2,459	4,379	3,036	3,982	2,547	5,054	2,639
その他	83,939	50,288	65,048	42,113	78,501	45,868	68,654	33,378
合計	683,149	433,537	520,121	382,033	556,675	368,471	651,386	373,245

図表14 ブラジルのオレンジ果汁輸出 非冷凍、20ブリックス未満(トン及び千米ドルFOB)

輸出先国	2019年7月～ 2020年6月		2020年7月～ 2021年6月		2021年7月～ 2022年6月		2022年7月～ 2023年6月	
	輸出額	輸出量	輸出額	輸出量	輸出額	輸出量	輸出額	輸出量
米国	140,358	437,326	159,118	494,789	228,200	634,590	413,098	1,063,208
ベルギー	178,466	495,518	176,190	581,006	152,114	440,969	181,145	480,396
オランダ	124,646	381,418	124,946	375,435	131,121	390,551	118,413	348,706
スペイン	2,545	9,288	7,181	24,838	1,898	5,582	3,773	9,156
チリ	994	955	1,284	1,324	1,834	1,964	1,516	1,437
メキシコ	-	-	-	-	-	-	467	480
パラグアイ	71	80	231	301	264	288	294	294
アンゴラ	44	45	100	91	133	125	199	196
フィリピン	91	80	107	98	93	104	177	178
英国	0	0.24	0	0.30	1	0.22	71	158
その他	17,720	46,440	5,500	7,149	13,074	28,751	418	365
合計	464,936	1,371,151	474,657	1,485,030	528,732	1,502,924	719,572	1,904,575

「その他」カテゴリには、FCOJとNFCの両方の輸出が含まれる。当事務所は、「その他」カテゴリの輸出先国別の平均月別価格を、FCOJとNFCの輸出を区別するための1つの基準とみなしている。数値は、ブラジル外国貿易事務局(SECEX)のデータ(品目番号NCM2009.12.00*)に基づく貿易データモニター社のデータによる。四捨五入により合計が一致しないことがある。(*: 前年度の報告書に準じれば「2009.19.00」)

図表15 ブラジル産オレンジ果汁の輸出、その他(トン及び千米ドルFOB)

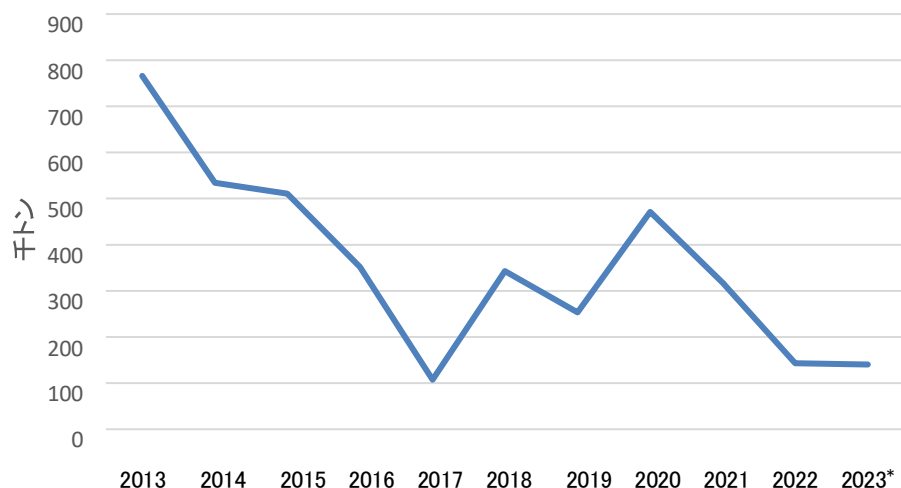
輸出先国	2019年7月～ 2020年6月		2020年7月～ 2021年6月		2021年7月～ 2022年6月		2022年7月～ 2023年6月	
	輸出額	輸出量	輸出額	輸出量	輸出額	輸出量	輸出額	輸出量
オランダ	310,418	214,394	230,937	166,847	275,325	163,639	268,610	142,198
ベルギー	210,151	116,868	193,560	121,318	211,129	126,980	288,187	123,228
米国	108,629	76,183	77,006	62,595	69,798	46,595	178,970	89,499
英国	26,058	17,939	27,346	19,622	14,381	8,988	30,355	15,930
パラグアイ	151	243	157	236	170	241	152	201
日本	391	215	13,388	10,035	15,887	9,928	388	171
アルゼンチン	187	187	101	117	99	117	100	117
スペイン	142	118	2,010	1,221	1,091	650	119	66
ドミニカ共和国	-	-	135	95	-	-	131	54
ニュージーランド	-	-	-	-	-	-	12	22
その他	3,378	2,047	1,292	867	2,085	1,198	236	141
合計	659,503	428,193	545,931	382,953	589,965	358,335	767,260	371,627

在庫量

当事務所は、期末在庫量の2021/22年度の推計値と2022/23年度の予測値をそれぞれ1万5千トン及び1万4千トンに維持した。この在庫量には、ブラジル国内のオレンジ果汁施設(加工工場、港湾ターミナル等)の貯蔵タンク内の在庫のみが含まれており、輸送中または米国、ヨーロッパ、日本の港湾ターミナル等、ブラジル企業が海外で所有する在庫量は含まれない。

ブラジル柑橘類輸出業者協会(CitrusBR)によると、ブラジル産オレンジ果汁の世界の在庫量は2022年*6月30日現在で14万トンと推定され、2022年6月30日の在庫量(14万3,104トン)と比較して3,104トン少ない(*: 前年度の報告書に準じれば「2023年」)。CitrusBRの世界の在庫量には、ブラジル国内の加工工場と港湾ターミナルの貯蔵タンクにあるオレンジ果汁と、海外(世界中の船舶及び港湾施設)の在庫量が含まれる。したがって、今年度のブラジル産の在庫量は史上最低の水準に達すると推定される。10年前、オレンジの在庫量は100万トンを超えていた(原文のまま)が、前述のような底堅い需要と世界的な供給上の課題により、在庫量は使い尽くされた。

図表16 ブラジル産オレンジ果汁の世界の在庫量



出典: Citrus BRのデータに基づき当事務所が作成 *は推計値

生産需給統計

この表には、次の変換係数を使用してFCOJ(ブリックス値65相当)に変換された輸出用のNFC製造量が含まれている: FCOJ(ブリックス値65)の1トンは、NFC(ブリックス値11.6)の5.4~5.6トンに相当する。

図表17 ブラジルのオレンジ果汁の生産需給統計

オレンジ果汁 販売年度 ブラジル	2020/2021		2021/2022		2022/2023	
	2021年7月~翌年6月 農務省公式	今回推計値	2022年7月~翌年6月 農務省公式	今回推計値	2023年7月~翌年6月 農務省公式	今回推計値
原料果実の加工仕向量(トン)	10,118,400	10,118,400	12,280,800	12,291,000	11,913,600	12,090,000
期初在庫量(トン)	151,000	151,000	15,000	15,000	14,000	9,000
製造量(トン)	944,000	944,000	1,134,000	1,135,000	1,119,000	1,125,000
輸入量(トン)	0	0	0	0	0	0
総供給量(トン)	1,095,000	1,095,000	1,149,000	1,150,000	1,133,000	1,134,000
輸出量(トン)	1,010,000	1,010,000	1,060,000	1,068,000	1,040,000	1,050,000
国内消費量(トン)	70,000	70,000	75,000	73,000	80,000	75,000
期末在庫(トン)	15,000	15,000	14,000	9,000	13,000	9,000
総仕向量(トン)	1,095,000	1,095,000	1,149,000	1,150,000	1,133,000	1,134,000